

第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会【印象記】

産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座 松嶋康之

第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会
が、2025 年 6 月 12 日（木）～14 日（土）の 3
日間、国立京都国際会館にて京都府立医科大学の
三上靖夫先生の会長のもと開催されました。柔道
家である三上先生の熱い想いのこもった「精力善
用・自他共栄」のテーマで、新しいアイデア満載
の素晴らしい学術集会でした。

まずは準備の段階からカウントダウン企画とし
て、全国の多数の施設により作成された「あと
〇日」の動画が SNS で配信され、当日の会場ス
クリーンで流れました。我々も「あと 6 日」を担
当し、学術集会参加へのモチベーションを高める
ことができました。また、特別企画「アイデア善
用—手作りのリハビリテーション医療—」では、
補装具や評価・訓練機器などの日常診療での様々
な工夫について 30 以上のエントリーがあり、事
前にアプリで紹介動画を見てから、当日展示会場
で実物の説明を直接聞くことができました。コン
テスト形式で投票ができ、最優秀賞には浜松市リ
ハビリテーション病院の「とろみ水を凍らせた
『とろみシャーベット』」が選出されました。

会場のエントランスには柔道着姿の三上先生の
等身大パネルがあり、フォトスポットとなってい
ました。受付から企業展示を通して各会場に行く
流れが非常にスムーズで、国立京都国際会館の厳
かさや周辺の景観の素晴らしさもあり、会場の雰
囲気は学ぶ場として最高でした。

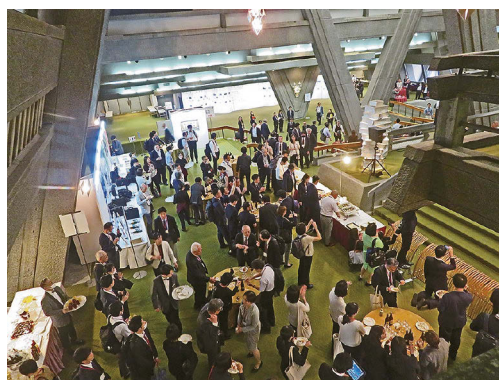
基調講演、会長講演では、「精力善用・自他共
栄」を提唱した柔道の創始者で教育者でもある嘉
納治五郎先生の生い立ちや理念がわかり、リハビ
リテーション医学を通して社会貢献を行うという
本学術集会のテーマの意義を深く知ることができ
ました。特別講演やシンポジウム、教育講演など
の内容も幅広く充実しており、自分の興味のある
テーマについて最先端の知識を得ることができま
した。また、特別企画「言葉」の旅—脳から脳
へ—が 3 日間連続で行われ、メインホールの前
に設置されていた巨大なパネルでは、コミュニ
ケーションに障害のある方々の生の経験談を動画



エントランスでは柔道着姿の三上会長の等身大パネルが
お出迎え



Try and Error 症例検討会（1日目）の様子



全員懇親会の様子

などで見て聞いて感じることができました。Try and Error 症例検討会も3日間連続オープンスペースで開催され、自分の施設以外の先生方と症例に関するグループワークを行うことは参加者にとって非常に有意義な経験になったと思われます。その他にも紹介しきれないほど多くの新しい企画があり、主催の京都府立医科大学リハビリテーション医学教室の医局員の皆様の企画力の素晴らしさに大変感銘を受けました。

さて、2026年度の春の第63回学術集会は産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座主催

で、佐伯覚教授を会長として2026年6月4日(木)～7日(日)の4日間で開催予定です。会場は福岡国際会議場、マリンメッセ福岡B館、福岡サンパレス、テーマは「未来を創る、リハビリテーション医学の力!」です。福岡市では「天神ビッグバン」として未来を創るための都市開発が進行中です。福岡の地で未来に向けたリハビリテーション医学の力を強く感じることができる学術集会にしたいと考えております。医局員一同、誠心誠意学術集会の準備を進めてまいりますので、来年は是非福岡までお越しください。

第62回日本リハビリテーション医学会学術集会【報告記】

京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 三上靖夫

どんな講演やシンポジウムを聴きたいか、どんな企画に参加したいか、学術集会の準備にあたり、教室のスタッフに問いかけ意見を募りました。私自身も高校の同級生や柔道仲間をはじめ、これまでご縁をいただいた方々に講演やシンポジウムに登壇をお願いしました。医療と直接関連のない分野からも多くの講演をお願いしたことでプログラムに広がりや多様性が生まれたように思います。スタッフが提案した5つの企画は特別企画として採用し、巨大な展示物、人文系とのコラボレーション、障害とともに生活されている方の登壇、映画の上映、アイデアのコンテストなどの企画者の思いを具現化しました。専攻医には全国の専攻医による交流会の企画・運営を一任しました。

テーマごとに整理しメッセージを込めたプログラムを早く会員にお伝えするために、学術集会の見どころを記した概要集を3月中旬に会員に送付しました。目玉となる講演の抄録を要約し、全てのシンポジウムにコメントを入れました。全国の先生にご協力いただいたカウントダウン動画をはじめとする様々なSNSの媒体を駆使した告知は、大橋鈴世准教授が一手に引き受けてくれました。

会場入り口で参加された方をお迎えした私の等身大パネルは、教室員が私に無断で作ったものです(笑)。展示会場では京都の代表的B級グルメの出店を設置して実演提供していただき、全員懇親会では同志社大学応援団にメインホールの舞台上で華やかに演舞していただきました。教室員の思



第1会場風景(会長講演)



アイデア善用コンテスト企画会場

いを集結した本学術集会を、参加された方々が楽しんで学びの場としていただけたなら、テーマに掲げた精力善用・自他共栄を実践できたことになります。ご参加いただいた皆様と、ご支援いただいた関係各位に感謝申し上げます。